

写真展 ポジティブエナジーズ 日本展

Positive Energies

あふれる生きる力 テーマはダウン症のある人たちの前向きなエネルギー
2018年のロンドンを感動で包んだ写真展、日本初開催

名畑文巨 × リチャード・ベイリー



Fumio Nabata



Richard Bailey

2021年7月22日(木・祝) ~ 8月3日(火)

11:00 ~ 20:00 (入場は19:30まで)

※7月24日(土)のみ17:30まで (入場は17:00まで)

渋谷ヒカリエ 8階 ギャラリースペース「CUBE」

東京都渋谷区渋谷 2-21-1

入場無料

公式サイト: project.fumionabata.com/



主催: 写真展ポジティブエナジーズ実行委員会

助成:



特別協賛: 金澤翔子

協賛: ぜんち共済株式会社、日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合

特別協力: Shifting Perspectives Project

後援: 外務省、厚生労働省、東京都、渋谷区
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本、公益財団法人日本ダウン症協会
公益社団法人日本写真協会
特定非営利活動法人大阪USクラブ、特定非営利活動法人アクセプションズ
英国ダウン症協会、ミャンマーダウン症協会、南アフリカダウン症協会

感染防止対策

渋谷ヒカリエの方針に従い、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底いたします。
マスクの着用、手指の消毒、入場者全員の氏名・連絡先の記入、検温等にご協力をお願いいたします。

ポスターデザイン: 澤地真由美

美しい人たちのなんて感動的で詩的な写真たちでしょう

“What inspiring and poetic pictures of beautiful humans”

写真展ポジティブエナジーズ ロンドン展 (2018年5月) での来場者からのコメント



名畑文巨は小さな子どもが持っているポジティブなエネルギーをテーマに、世界のダウン症のある子どもたちを取材撮影し、写真展を展開するプロジェクトを立ち上げ実行しています。2018年にロンドンで開催した第1回写真展「Positive Energies」で、日本・英国・ミャンマー・南アフリカ共和国の取材を敢行し、「ダウン症」をテーマとする英国人写真家の二人、リチャード・ベイリー、フィオナ・イーロン・フィールドとの三人展を実現しました。

そして今回、第2回となる日本展では、東京オリンピック・パラリンピックの理念の一つ「多様性と調和」を背景に、ダウン症のある人たちのエネルギーを感じていただき、障害のある人たちへの心理的障壁を取り払い、すべての人間が共存できる社会へ向かう一つのきっかけにしたいと願っています。



ロンドン展の出展作家三人：
左からリチャード・ベイリー、
名畑文巨、
フィオナ・イーロン・フィールド



2016年のミャンマー取材

写真展ポジティブエナジーズプロジェクト

プロジェクトの目的は障害者権利条約（2006年に国連総会で採択：締結国は日本を含む世界182カ国）の第8条 意識の向上【障害者に関する社会全体（各家庭を含む。）の意識を向上させ、並びに障害者の権利及び尊厳に対する尊重を育成すること。】に基づいています。ポジティブな生きるエネルギーにあふれた作品の展示により、多くの人の希望につながり、障害のある人たちへの偏見をなくすことを目指します。写真展はロンドンで開催後、2020年3月21日「世界ダウン症の日」に国連本部で開催することになっていましたが、コロナ禍により中止。今回、日本で初開催となります。

名畑 文巨

なばた ふみお

大阪府在住。子どもが見せるいきいきとした表情やしぐさ、それを見る者が抱く幸せな感情をテーマにした作品を撮り続ける。ダウン症のある子のエネルギーに衝撃を受け、世界のダウン症のある子どもたちを撮り発信している。APAアワード2009文部科学大臣賞受賞、公益社団法人日本写真家協会会員

Richard Bailey

リチャード・ベイリー

ロンドン在住。彼自身、ダウン症のある子をもつ。英国ダウン症協会を中心に、同じ立場の人が集まり誕生した写真プロジェクト「Shifting Perspectives」にてキュレーターを務め、2005年から8年間に7カ国・40都市で開催。その後、2014年に公益財団法人日本ダウン症協会主催により東京で開催。

関連イベント

関連のイベント等（オンライン形式を含む）については、新型コロナウイルスの感染状況をみながら検討していきます。詳細は公式サイト（project.fumionabata.com/）でお知らせします。